

景気動向調査 令和5年度・第2期（令和5年7月～令和5年9月）

調査概要

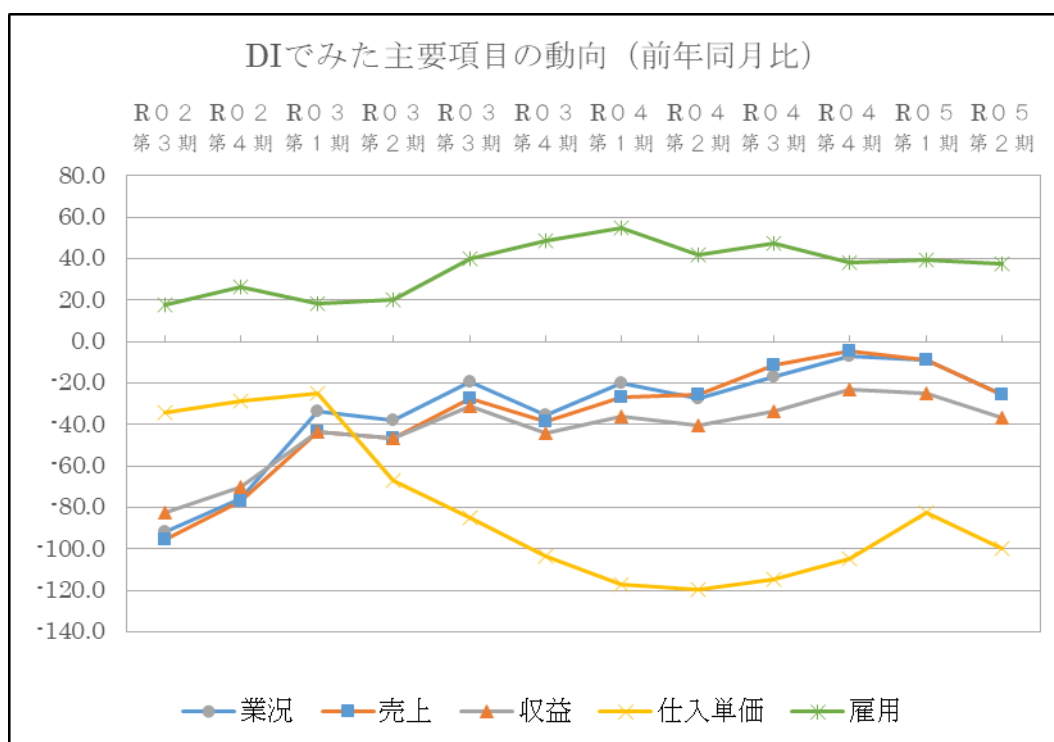
調査対象:赤穂商工会議所管内 120社

回収:93社 回収率:77.5%

調査対象期間:令和5年7月～令和5年9月(令和5年度・第2期)

DI値:「良い＋やや良い」と判断する事業所の割合から、「やや悪い＋悪い」と判断する事業所の割合を差引き、指数で表します。従って、売上高などの実数値を示すものではなく、強気・弱気などの景況感を意味します。

調査結果のポイント



全産業合計DI

区分	R5第1期 (R5年4月～6月)	R5第2期 (R5年7月～9月)	先行き見通し (R5年10月～12月)
業況	△8.7	△25.8	△7.5
売上	△8.7	△25.8	△7.5
収益	△25.0	△36.6	△21.5
仕入単価	△82.6	△100.0	△67.7
雇用	39.1	37.6	30.1

※雇用DIについては、数値が大きいほど人手不足感を表す

○今期の景況をみると、全産業合計の業況DIは前回調査(R5年1期)に比べ17.1ポイント下降の△25.8となった。売上DIは17.1ポイント下降の△25.8、収益DIは11.6ポイント下降の△36.6となり、また仕入単価は17.4ポイント下降で△100.0、雇用DIは1.5ポイント下降の37.6となった。

○先行き見通しについては、全産業合計の業況DIは今回調査結果(R5 年 2 期)に比べ 18.3 ポイント上昇の△7.5 で、売上DIは 18.3 ポイント上昇の△7.5、収益DIは 15.1 ポイント上昇の△21.5、仕入単価DIは 32.3 ポイント上昇の△67.7、雇用DI は 7.5 ポイント下降の 30.1 となっている。

売上 D I

区分	R4 第 2 期	R4 第 3 期	R4 第 4 期	R5 第 1 期	R5 第 2 期	先行き 見通し DI	先行き 期待感
全体	△25.3	△11.2	△4.7	△8.7	△25.8	△7.5	18.3
建設業	△26.7	△15.4	△7.1	△8.3	△46.7	△46.7	0.0
製造業	△10.7	4.2	0.0	△10.7	△7.4	△11.1	△3.7
卸売業	△50.0	△33.3	△33.3	△20.0	△50.0	10.0	60.0
小売業	△52.0	△17.9	△16.7	△14.8	△28.6	0.0	28.6
サービス業	0.0	11.1	33.3	0.0	△22.2	0.0	22.2
不動産・ 運輸業	△16.7	△33.3	20.0	40.0	0.0	50.0	50.0

○産業別の売上DIは前回調査(令和 5 年 1 期)と比較すると、製造業が△7.4(+3.3 ポイント)で改善、建設業が△46.7(△38.4 ポイント)、卸売業が△50.0(△30.0 ポイント)、小売業が△28.6(△13.8 ポイント)、サービス業は△22.2(△22.2 ポイント)、不動産・運輸業が 0.0(△40.0 ポイント)で悪化となった。

また、全体の先行き見通し DI は今回調査結果(R5 年 2 期)と比較し△7.5(+18.3 ポイント)となっている。

経営上の問題点 (上位 3 項目)

区分	R4 第 2 期	R4 第 3 期	R4 第 4 期	R5 第 1 期	R5 第 2 期	前回調査比
売上の停滞・減少	27.5	23.6	25.6	18.5	29.0	10.6
原材料高	25.3	19.1	24.4	21.7	22.6	0.8
人手不足	16.5	20.2	16.3	21.7	20.4	△1.3

○事業所からのコメント

建設業：空調設備工事が大きく伸びている。

卸売業：風評被害の影響を受ける可能性がある。

特定年齢の従業員を募集しているがなかなか応募がない。

小売業：人件費・仕入は上がって売上が変わらないので、利益が下がっている。

全体的に販売点数が下がっている。

サービス業：付帯業務が増えており、人手不足感がある。

<参考>

有効求人倍率

区分	R5.8月	R5.7月	R5.6月
一般(常用)	0.85	0.86	0.92
パート(常用)	0.94	0.96	0.85
一般+パート(全合計)	0.89	0.91	0.89

